

CASBEE-建築(新築)2016年版
共和産業株式会社鮮魚作業所新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				-	-			
1.2 遮音				-	-			
1 開口部遮音性能				-	-			
2 界壁遮音性能				-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音				-	-			
2 温熱環境								
2.1 室温制御				-	-			
1 室温				-	-			
2 外皮性能				-	-			
3 ゾーン別制御性				-	-			
2.2 湿度制御				-	-			
2.3 空調方式				-	-			
3 光・視環境								
3.1 昼光利用				-	-			
1 昼光率				-	-			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策				-	-			
1 昼光制御				-	-			
3.3 照度				-	-			
3.4 照明制御				-	-			
4 空気質環境								
4.1 発生源対策				-	-			
1 化学汚染物質				-	-			
4.2 換気				-	-			
1 換気量				-	-			
2 自然換気性能				-	-			
3 取り入れ外気への配慮				-	-			
4.3 運用管理				-	-			
1 CO ₂ の監視				-	-			
2 喫煙の制御				-	-			
Q2 サービス性能					0.43			3.4
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				-	-			
1 広さ・収納性				-	-			
2 高度情報通信設備対応				-	-			
3 バリアフリー計画				-	-			
1.2 心理性・快適性				-	-			
1 広さ感・景観				-	-			
2 リフレッシュスペース				-	-			
3 内装計画				-	-			
1.3 維持管理				-	-			
1 維持管理に配慮した設計				-	-			
2 維持管理用機能の確保				-	-			
2 耐用性・信頼性				3.2	0.50			3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ガルバリウム鋼板の耐用年数25年		4.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新必要間隔20年以上		5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・排水管にBを使用、Eは不使用		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				3.0	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.6	0.50		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.095	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-	-		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.29		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.14		-	
4	通信配線の更新性		-	-		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.29		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.29		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.80	3.0	0.63		-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			5.0	0.20		-	5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		内装仕上材料・接着剤はF☆☆☆☆または規制対象外の材料を使	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	断熱材にKBマット(グラスウール)を採用	5.0	1.00		-	
3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率89%	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	評価ポイントの合計値が3ポイント	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン3項目該当、広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	